

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】令和 5 年 5 月 23 日 (2023.5.23)

【公開番号】特開 2023-44712 (P2023-44712A)

【公開日】令和 5 年 3 月 31 日 (2023.3.31)

【年通号数】公開公報 (特許) 2023-060

【出願番号】特願 2021-176967 (P2021-176967)

【国際特許分類】

B 6 1 C 11/00 (2006.01)

B 6 1 B 5/02 (2006.01)

B 6 1 B 10/00 (2006.01)

【F I】

B 6 1 C 11/00

B 6 1 B 5/02

B 6 1 B 10/00 1 0 3 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 20 日 (2023.4.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】手続補正書

【補正対象項目名】手続補正 2

【補正方法】追加

【補正の内容】

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

【図 1】図 1 は、路盤設置輪の上った状態図である。

【図 2】図 2 は、路盤設置輪の下った状態図である。

【図 3】図 3 は、慣性乗り上げプレートで加速の状態図である。

【図 4】図 4 は、リンクレールによる浮揚図である。

【図 5】図 5 は、車両レール偏心カムによる浮揚図である。

【図 6】図 6 は、偏心カム車両レールの横図である。

【図 7】図 7 は、車両レールの斜めスライド穴による上下作動図である。

【図 8】図 8 は、路盤設置輪の左右動の断面図である。

【図 9】図 9 は、車両設置レールの横図である。

【図 10】図 10 は、車輪に V 溝を設けてそこに V ベルトを圧入した形態を示す図である

【図 11】図 11 は、V 溝以外の車輪防滑装置を示す図である。

【図 12】図 12 は、リングカバー絞り部をかぶせて絞って固着する形態を示す図である

【図 13】図 13 は、プレス成形車輪リング状カバーを示す図である。

【図 14】図 14 は、軌道輪台車に保持された軌道輪は左右のレールに常時接触している状態を示す図である。

【図 15】図 15 は、右カーブの状態を表わす図である。

【図 16】図 16 は、ウォームとウォームホイールを使った踏面制御の例を示す図である

。

10

20

30

40

50

【図 17】図 17 は、三角軌道輪台車と車両台車を組合せた形態を示す図である。

【図 18】図 18 は、車輪の外側に四角軌道輪台車に保持されたレール軌道輪がある車両での実施形態を示す図である。

【図 19】図 19 は、車両台車の内側に四角軌道輪台車を置いた形態を示す図である。

【図 20】図 20 は、水平に設置された軌道輪台車が分岐器トングレールに接触する形態を示す図である。

【図 21】図 21 は、両持レール軌道輪を使った踏面制御を示す図である。

【図 22】図 22 は、車両に取付けられた車両レールを V 溝を設けた路盤設置輪で駆動する例を示す図である。

【図 23】図 23 は、本発明の他の実施形態について説明するための図である。

10

【図 24】図 24 は、V 形凹レールと凸形 V レールにより車輪の踏面が浮いている状態を示す図である。

20

30

40

50